

CHRニュース Vol.45

発行：CHR研究所
発行責任者： 小山田治子

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-24-18-302

Tel 045-561-0777 Fax 045-561-0803

http://www.c-h-r.com eメール chr@c-h-r.com

四半世紀の歩み

小山田治子

平成27年が明けてすでに1ヶ月が過ぎ、間もなく立春を迎えます。

今年5月CHR研究所は満25周年を迎えます。四半世紀と言いますが、この間日吉の町並みは大きく変わりました。日吉駅は地上から階段が上がったところで、冬は吹きさらしの状態でした。それがビルになってデパートができ、メトロの南北線と都営三田線が乗り入れて、更に地下鉄のグリーンラインが入りとても便利になりました。現在相鉄線の乗り入れ工事も進んでいますので、まだまだ変わります。

商店の入れ替わりも激しく、新しいお店がオープンするとその前が何のお店だったかしら？とすぐには思い出せない状態ですが、その四半世紀の間にCHR研究所は拡大縮小しつつ続けてきました。10周年は表参道のダイヤモンドホールで約110人のパーティーを、15周年は神田のレストランでNPサークルのメンバーのみで、20周年は横浜西口のシェラトンホテルで約95人のパーティーを開いて皆さんに祝っていただきました。

そして今年、25周年は趣向を変えてNPサークル会員の希望者で温泉旅行の案が出ています。ご希望の方は一言連絡して下さい。

私もあれから25歳年齢を加え、企業研修の講師の仕事も減りましたので、これを機に親教育や生涯学習、カウンセリングに力を入れたいと考えています。折しも以前から必要と思いつながら普及活動が難航している「婚前カップルカウンセリング」の出番がありそうで、大いに期待しているところです。あまりにも多くなっている家族をめぐるトラブルや、子育ての問題の根っこにあるのは夫婦関係ですので、結婚前にしっかりと話し合ってお互いに理解を深めておく必要があると思つています。

後何年仕事を続けられるかしら？と考えるのですが「都会のオアシス」の機能はしばらく大切にしたいと思つています。今までCHRで学んだ人たちが結婚し、子どもが生まれると、外孫と言つて可愛がつてきましたが、私にも1月に待望の初孫が誕生しました。私はその孫が成人するまで元気に生きることが新たな目標としました。

(昔の日吉駅) (現在の日吉駅)



CHR研究所からのお知らせ

① 平成27年度定例講座受付中！

詳細はHPをご覧ください。

☆カウンセリング実践講座

土曜コース*第2土10時〜12時
月曜コース*第3月10時〜12時

(内容)

カウンセリングの基礎を学んだ方を対象に、月1回カウンセリングの体験を積む講座です。

☆カウンセリング・アドバンス講座

第2水午後1時半〜3時半

(内容) 新企画講座です。

「カウンセリング学習に終わりはない」と言われます。学べば学ぶほどに興味は尽きず、社会の変遷によって主流となるものが変わってきて、常に学び続ける必要性を感じます。交流分析を2年間学んだ人たちが、更に続けて勉強の場が欲しいと言つ声があがり、日常生活で使えるように、またはカウンセリングの学習を活かした活動を望む人たちに役立つ講座を企画しました。

② 無料電話相談

☆専用番号045(5666)0875

(水・土) 午前10時〜午後4時迄

但し 第2水 午前のみ

第2土 午後のみ

③ 心の笑顔サロン(楽しい語り場です)

(第3木) 夜 7時〜9時

(第4木) 午前 10時〜12時

◎どなたでも参加して頂けます。

④ 紙芝居

○出張紙芝居教室開催

子育てにいかす心理学を楽しく学んで頂ける紙芝居を作って、母親対象の「紙芝居教室」を開催しています。出張致しますので、ご相談ください。

○オリジナル紙芝居の販売

より多くのお母さん達に交流分析理論を知って頂き、お母さんに笑顔で子育てして頂きたいという思いから、交流分析を使って母親教育をしている方を対象に、オリジナル紙芝居の販売を始めました。

☆ストローク編

☆5つの私編



(各500円・2点以上は各400円)

ご注文・お問い合わせは事務局まで。他にも、アサーション、児童向けの(いじめ予防の紙芝居)があります。

⑤ 小山田治子著書の紹介*

☆「子どもの瞳が輝くために」

〜母親視線の子育て論〜

1500円+税 カナリア書房

嬉しい感想を大勢の方々から頂き、保

育士さんにも好評です。

ご注文・お問い合わせは事務局まで。

NPサークル仲間たち

こころの栄養 高橋真理子

「ずいぶん色々な所に行きましたね。故郷がいつばいできて財産ですね」

今年いただいた会社員時代の先輩からの年賀状の一文だ。その先輩も、父親の仕事の関係で子供の頃は各地に住んだと聞いている。東京に戻ってきたことを知って添えてくれた言葉に、故郷をたくさん持つ人の共通の思いを感じ嬉しくなった。

私の故郷の一つ、札幌に先日行ってきた。宿泊先のホテルのそばから地下鉄に乗り、住んでいた最寄駅に向かう。好奇心あふれる幼い子供よろしく、電車の窓に額をつけるようにして風景を眺めた。

最寄駅で降り、まずはよく買い物をしたスーパーに立ち寄る。スーパーの名前は変わっていたが、中のつくりはそのままで、全国的に有名なお菓子屋では、地元でしか手に入らない「今月のお菓子」をゲット。

喜々としてお菓子を選ぶ私の姿に夫が笑っている。駅の周辺をひと回りして住んでいたマンションへ足を向ける。ケーキ屋、美容院、コンビニ・・・よく利用したお店を見つけては、「あった!あった!」と夫と歓声を上げながら雪道を転ばないように歩幅を狭くして進む。

(雪道の歩き方は体が覚えている!)そして5年数か月を過ごした我が家に到着。ズラツと並ぶ郵便受けの風合いに、転居

後の歳月を感じたが、マンションを見上げて部屋を確認したとたんに、部屋の間取りや窓から眺めた景色がまさまじと甦ってきた。そこで記念撮影。そばを通った住人には訝しげな顔をされたが、こちらは自然と笑みがこぼれる。ハイテンションのまま、一週間に一度は行った回転寿司でお昼にした。やっぱり北海道の回転寿司はネタが大きくておいしい!(回転寿司だけどね)そして、おなかも心も満たされて、来た道に戻った。ほんの数時間の小さな旅だったが、何かとても気持ちが悪くなった。

数年前小山田先生と、先生がまだ新米お母さんの頃に住んでいた街を、一緒に歩いたことがある。あの時、「懐かしさと嬉しいような、温かい気持ちになった。」と先生が言われたが、その時の気持ちがよくわかる。

以前杉溪先生の講座で、ライフレビュー・カウンセリングを習った。「人は、自分がやってきたこと、気持ち、行動を確認すると自信になる」というものだ。そう、思い出話をしながら楽しい時を過ごした街を久しぶりに歩いて、確かに元気になった。自分の人生のひとつときをもう一度振り返ることは心に栄養を与えてくれる。

私には、まだまだ「故郷」がある。そう思うと楽しくなってきた。次はどこに帰ろうかな。

○私が編集長を拝命した時に、NPサークルのメンバーを紹介しようと思ったこの企画ですが、次回で最終回です。今まで原稿を書いて下さった会員の皆様、素敵なエピソードをありがとうございます。

た。トリを飾っていたのは、CHRR研究所にはなくてはならない方、石橋由美子さんです。

平成27年度定例講座の受付が始まりました。詳細はHPまたは案内チラシをご覧ください。

新規講座の「カウンセリング・アドバンス講座」は、暫くCHRRの講座と離れていたけれど、時間の余裕もできたので勉強を再開したいと思ってい

らっしゃる方にお薦めの講座です。「講座に参加することが癒しになる」と言われるCHRR研究所の講座には非ご参加ください。

CHRR研究所は、今年もカウンセリング、講座の企画、ボランティア活動(サロン・電話相談)、CHRRニュース発行を通して、皆様のお手伝いが出ればと考えています。お気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

＊CHRR研究所＊

横浜市港北区日吉本町1-24-18-302

TEL 045-561-0777

Fax 045-561-0803



＊＊ 編集後記 ＊＊